

地域社会学会会報

No.231 2023.2.6

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒480-1198 長久手市茨ヶ廻間 1522-3 愛知県立大学教育福祉学部
松宮朝研究室内

TEL 0561-76-8706(直) FAX 0561-64-1107 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

◆…………… 〈 会報 231 号のトピック 〉 ……………◆

- 1)第3回研究例会の批評論文は「地域社会学会ジャーナル」No.9 (WEB版)に掲載されます。
- 2)2022年度の会費未納入の方は、納入をお願いします。詳細は5ページをご覧ください。
- 3)事務局業務の委託作業を進めています。3月以降に、会員みなさまに依頼をさせていただきます。
- 4)48回大会(2023年5月13日・14日、於駒澤大学)自由報告募集について、2ページをご覧ください。

目次

- 2月18日(土)開催の第4回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い
1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 社会学系コンソーシアム担当からの報告
5. 事務局からのお知らせとお願い
6. 会員異動
7. 会員の研究成果情報
8. 理事会のご案内

2022年度第4回研究例会のご案内

日時 2023年2月18日(土) 14:00~17:00

会場 立教大学池袋キャンパス 5号館1階 5122教室+オンライン(ハイブリッド方式)

※アクセス方法等は、開催2日前をめぐりに、会員メーリングリストで配信します。

第1報告 吉原 直樹(東北大学名誉教授)(オンラインでの報告を予定)

「移動論的転回と地域社会学の「あいだ」

——モビリティーズ・スタディーズの底流」(仮)

第2報告 福田 友子(千葉大学)

南アジア系移民企業家の地域拠点形成

: 千葉県内の中古車・中古車部品貿易業者を中心に

2月18日(土)開催の第4回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

1.会場にお越しのみなさま

会場：立教大学池袋キャンパス 5号館 1階 5122教室

東京都豊島区西池袋 3-34-1

アクセス：JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/副都心線「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分。

<https://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/>



2. オンラインでの参加のみなさま

<事前の準備のお願い>

- ◆事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

<当日のお願い>

- ◆待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆画面に表示する氏名は、「フルネーム(所属)」に変更しておいてください。

◆研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

<配布資料について>

- ◆報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

<質問・発言について>

- ◆以下のいずれかの方法でお願いいたします。
- ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
- ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
- ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

<Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

◆オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

<当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

◆当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇メールアドレス matumiya[アット]ews.aichi-pu.jp [アット]を@にしてください。
- ◇当日配布資料の再配布はありません。

<問い合わせ先>

◆当日の Zoom 操作に関すること以外は、研究委員長（清水洋行、hishimizu [アット] chiba-u.jp）までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

1. 理事会からの報告

2022 年度地域社会学会第 4 回理事会は、2022 年 12 月 18 日（土）の 10 時 30 分から 12 時 30 分まで、愛知県立大学サテライトキャンパス（ハイブリッド形式）で開催されました。ここでは、審議事項として 6 件が議論されました。

出席（17 名、敬称略）：木田勇輔、小山弘美、齊藤綾美、佐藤洋子、清水洋行、高木竜輔、田中里美、玉野和志、中澤秀雄、船戸修一、前島訓子、松木孝文、松宮朝（記録）、町村敬志、丸山真央、望月美希、吉野英岐

(1) 2022 年度大会について

2023 年 5 月 13 日（土）・14 日（日）の両日、駒澤大学で実施します。当日について、基本的に対面での報告とし、ハイブリッド開催の場合でも、報告は会場での報告のみとします。

(2) 事務局の外部委託について

前回大会総会で承認された、事務局の外部委託について、現事務局（松宮、松木理事、木田理事）で、アトラス社と契約しました。3 月より、移行作業についてみなさまにご案内いたします。

その他の内容については、各委員会報告・事務局報告をご覧ください。

（松宮 朝）

2. 研究委員会からの報告

去る12月10日(土)に2022年度第3回研究例会が、前回に引き続き対面とオンラインによるハイブリッド型で開催されました。対面参加が22名で、オンライン参加者が最大時で38名でした。当日の報告の概要については『地域社会学会ジャーナル』第9号をご参照ください。当日の会場および機材等の手配・準備にあたり、松宮朝会員に多大なご尽力をいただきました。改めて感謝申し上げます。また、次回の研究例会もハイブリッド型による開催を予定しており、本年度の経験をふまえて、ハイブリッド型による開催の効果・課題と可能性等について検討していきたいと考えています。

この間、研究委員会を10月28日(金)、12月19日(月)、1月10日(火)にオンラインにて開催し、各研究例会の詳細とシンポジウムのテーマ・登壇者について検討しました。各会の参加者は、第4回・第6回が小山弘美、阪口毅、高木竜輔、田中里美、西野淑美、前島訓子、吉村真衣、清水洋行、第5回が小山弘美、阪口毅、高木竜輔、田中里美、西野淑美、前島訓子、清水洋行です(敬称略)。

次回の研究例会は2月18日(土)です。開催方式は、今回と同様、対面参加とオンライン参加のハイブリッド型です。会場は、研究委員でもある阪口毅会員にお世話いただき、立教大学池袋キャンパスをお借りできることとなりました。開催時間は、前回と同じ14時~17時です。

第1報告は、前期から継起し今期の理論的な視点としているモビリティ論について、地域社会学会にとってのモビリティ論的転回の意義を考えるため、吉原直樹会員に報告をお願いしました。第2報告は、国際移動をふまえた実証的研究を蓄積されている福田友子会員に、モノ(中古車等)ほかのグローバルな循環のなかでのパキスタン人企業家の創出と展開、および国内における在日パキスタン人と地域社会との関わりについて報告していただく予定です。二つの報告を通して、モビリティ論における「移動性」「領域性」「複雑性」等について理解を深めていきたいと考えています。

みなさまのご参加をお待ちしています。

(清水 洋行)

地域社会学会第48回大会の予告、自由報告の募集

地域社会学会第48回大会が、2023年5月13日(土)・14日(日)の両日、駒澤大学(東京都世田谷区)で開催されます。自由報告を希望される方は、以下の手順で自由報告への応募をお願いいたします。

(1) 報告の題目と簡単な内容(100字程度)の提出

2023年2月末日必着で、メールにてお送りください。メールアドレスは下記のとおりです。メール受信後、行き違いを避けるために受理確認メールを返送します。受理確認メールが届かない場合は、メールその他の手段で下記連絡先に連絡してください。

(2) 報告要旨(A4版用紙で40字×40行を1枚)の提出

2023年3月20日(月)必着で、報告要旨を電子ファイル(Word)で作成し、メールに添付してお送りください。送付にあたり、PDFファイルもあわせてお送りください。こちらが会報(プログラム・報告要旨集)の原稿となります。

(提出先・連絡先)

E-mail: hishimizu◆chiba-u.jp (◆を@にしてください)

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33 千葉大学人文科学研究院 清水洋行

電話: 043-290-2292

【会費をまだ納入されていない方へ】

自由報告を行う場合、2022年度までの会費が納入されている必要があります。

【現在非会員で報告を希望される方へ】

自由報告は会員であることが必要です。現在非会員の方で自由報告を希望される方は、2月に開催される理事会で入会が承認される必要があります。該当する方は、下記のサイト(本学会

の HP) から会員申込書をダウンロードし、2月15日(水)(必着)までに事務局に入会申込書をご送付ください。

<https://jarcs.sakura.ne.jp/main/membership/index.html>

(清水 洋行)

3. 編集委員会からの報告

12月8日に第4回編集委員会をオンラインで開催され、年報35号(2023年5月刊行予定)の編集の進捗状況について話し合いました。現在、自由投稿論文4本のリライトおよび査読中です。特集論文は、大会シンポジウム(「新型コロナ禍の中の『移動』と地域社会」)の登壇者に寄稿を依頼し、解題を含め計4本が掲載される予定です。また書評10本、書評リプライ1本、自著紹介1本が掲載される予定です。お忙しいなか、査読や執筆をお引き受けくださった皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

(船戸 修一)

4. 事務局からのお知らせとお願い

(1) 会費納入状況

2022年12月17日時点の会員は389名(一般351名、院生22名、終身15名)で、会費納入率は61.8%でした。

今年度までの4年以上滞納者は5名おり、会員資格喪失について審議事項になります。

(2) 会報230号・ジャーナルNo.8の発行

学会HP上で会報230号とジャーナルNo.8が発行されました。

(3) 2022年度会費納入のお願い

2022年度の会費納入について、未納入の場合は納入をよろしくお願ひします。郵便局の窓口備え付けの青い払込用紙に、口座番号(00150-2-790728)、加入者名(地域社会学会)、会員ご本人の氏名・ご住所と、通信欄に「2022年度会費」を明記の上、会費(一般会員6,500円、院生会員5,000円)のご送金をお願いします。2022年度分の会費の振込確認ができた会員には、『地域社会学会年報』第34集をお送りします。

(4) 会員の研究成果情報の提供のお願い

2021年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙(地域社会学会WEBサイトからダウンロードできます)の情報を、事務局宛のメールでお送りください。ご協力よろしくお願ひします。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いいたします。

(松宮 朝)

5. 会員異動(敬称略)

<退会>

篠木幹子

<終身会員>

熊田俊郎、渡戸一郎

(以上、2022年12月10日理事会で承認)

6. 会員の研究成果情報(2021年~2022年)

なし

7. 理事会のご案内

第5回理事会

日時 2月18日(土) 10:30~12:30

(立教大学池袋キャンパス 5号館1階 5122教室+ハイブリッド)